

日本分析化学会九州支部 2018年度 第2回常任幹事会

日時：平成31年2月16日(土) 13時00分～15時15分

場所：佐賀大学 本庄キャンパス 理工学部9号館6階 セミナー室609

出席者(敬称略・順不同)：高椋 利幸(支部長)、浜瀬 健司(次期支部長)、
森 健(副支部長)、戸田 敬(監査)、内原 博(監査)、梅木 辰也(庶務幹事)、
真瀬田 幹生(会計幹事)、肥後 盛秀(理事)、稲田 幹(常任幹事)、
井原 敏博(常任幹事)、大庭 義史(常任幹事)、川上 健次(常任幹事)、
神崎 亮(常任幹事)、宗 伸明(常任幹事)、
竹中 繁織(常任幹事/第79回分析化学討論会実行委員長)、竹原 公(常任幹事)、
巴山 忠(常任幹事/Anal. Sci. 編集委員/次期庶務幹事)、増田 寿伸(常任幹事)、
井上 高教(ぶんせき編集委員)、藪下 彰啓(分析化学編集委員)、
中園 学(次期会計幹事)

議題(担当者)

会議に先立ち、1月4日に急逝された藏脇淳一先生(鹿児島大理)に黙祷を捧げた。

1 報告事項

1) 九州支部事業(梅木庶務幹事、戸田実行委員長、川上常任幹事)

九州支部事業のうち第31回九州分析化学若手の会春の講演会、第36回九州分析化学若手の会夏季セミナー、九州分析化学会賞及び奨励賞、第55回化学関連支部合同九州大会・九州分析化学ポスター賞について、資料に基づいて、報告がなされた。また、第59回分析化学講習会について、提出された事業完了報告書と決算書に基づいて、戸田実行委員長(熊本大学)から説明がなされた。さらに、11月29日開催の機器分析ワークショップについて、提出された資料に基づいて、川上常任幹事から報告がなされた。前処理に特化したワークショップが好評であったことが報告された。

2) 支部関連会議(梅木庶務幹事)

資料に基づいて、2018年度は九州分析化学会賞・奨励賞選考委員会、第1回常任幹事会、学会賞等候補者推薦委員会、幹事会、第2回常任幹事会の計5回の会議が開催されたことが報告された。

3) 支部講演会・見学会(高椋支部長)

2018年11月16日(金)に開催された九州支部講演会(サンメッセ鳥栖)ならびに見学会(産業技術総合研究所九州センター)について、資料に基づいて、高椋支部長から報告がなされた。

4) 理事会(肥後理事)

12月20日(木)開催の2018年度第5回理事会について、九州支部に関連する議事録の抜粋に基づいて、次期会長選挙結果、第3四半期決算状況、「分析化学」誌購読料、第78回分析化学討論会会計報告、第67年会会計報告、2018年ASAS会計報告、第79回分析化学討論会計画・予算案、年会討論会要旨A4判化、討論会・講演会の主催等に関する取扱規定改訂、年会・討論会担当支部、会員現況・入退会状況の報告がなされた。第79回分析化学討論会の広告について、第2回常任幹事会出席者への獲得依頼がなされた。

5) 2018 年度支部会計報告（真瀬田会計幹事）

資料に基づいて、第 2 回常任幹事会費用見込を含む会計報告がなされた。支部運営の健全化を図るために、若手の会春の講演会事業の開催方法について、意見があがった。

6) 各誌編集委員会

Analytical Sciences（巴山編集委員）

11 月 28 日(水)開催の 2018 年度第 5 回編集委員会と 1 月 28 日(月)開催の 2018 年度第 6 回編集委員会について、提出された編集委員会の議事録に基づいて、編集委員の巴山常任幹事（福岡大学）から説明がなされた。Facebook の公開準備状況、レビュー謝礼の増額、Analytical Sciences 査読審査賞の設置について報告がなされた。

ぶんせき（井上編集委員）

10 月 11 日(木)開催の 2018 年度第 4 回編集委員会について、提出された編集委員会の議事録に基づいて、編集委員の井上幹事（大分大学）から説明がなされた。2019 年度表紙・レイアウトについて、報告がなされ、2020 年度表紙・レイアウトについて、呼びかけられた。

分析化学（薮下編集委員）

1 月 19 日(水)開催の 2018 年度第 9 回編集委員会について、提出された編集委員会の議事録に基づいて、編集委員の薮下幹事（九州大学）から説明がなされた。審査・投稿システム変更に向けた活動の状況報告がなされた。また、インストラクター制度導入について、報告がなされた。また、第 79 回分析化学討論会実行委員長の竹中常任幹事（九州工業大学）から、特集号の案内がなされた。

7) 第 79 回分析化学討論会（竹中実行委員長）

第 79 回分析化学討論会については、実行委員会の中で報告されることになった。

8) その他

特になし

2 審議事項

1) 2019 年度支部・本部関係役員（高椋支部長）

2019 年度本部・支部役員について、前回の幹事会にて、報告や選出の依頼がなされた支部役員について、最終案が示された。長崎・熊本ブロック 2 名を長崎ブロック 1 名と熊本ブロック 1 名に変更することとなり、了承された。また、浜瀬次期支部長（九州大学）から沖縄ブロックの状況について説明がなされ、交流の継続に努めることとなった。

2) 支部役員の変更（梅木庶務幹事）

2018 年度開始以後の変更について、一覧が示された。第 2 回常任幹事会では、新たに 3 名の新任、1 名の役員変更、2 名の転任、1 名の参与退任、1 名の幹事退会が承認された。

3) 2019 年度支部予算（真瀬田会計幹事）

2019 年度の予算案について、資料に基づいて、収入・支出の各科目の説明がなされ、了承された。

4) 2019 年度支部事業計画（梅木庶務幹事）

研究発表会 1 件，講演会等 4 件，講習会 1 件，その他 3 件の各計画概要について、説明がなされ、了承された。

5) 第 56 回化学関連支部合同九州大会（梅木庶務幹事）

資料に基づいて、2019 年度は、7 月 13 日（土）に北九州国際会議場で開催され、発表申込期間は 3 月 1 日（金）～4 月 12 日（金）、依頼講演は吉田秀幸先生（福岡大学）にお願いしていることが報告された。

6) 第 32 回九州分析化学若手の会春の講演会（森 世話人）

提出された資料に基づいて、代表世話人の森副支部長（九州大学）から開催の概要および講演プログラムが説明され、了承された。予算案の情報交換会について、質問がなされ、後日修正されることとなった。→ 2 月 21 日（木）にメールで全常任幹事に配信

7) 第 37 回九州分析化学若手の会夏季セミナー（梅木庶務幹事）

代表世話人の田中充幹事（九州大学）から提出された資料に基づいて、開催の概要および予算案が説明された。参加費について、唐津市のコンベンション助成金が獲得できなかったが報告され、開催場所の見直しをお願いすることとなった。

8) 2019 年度分析化学講習会（高椋次期実行委員長）

事務局は、2018 年度の支部執行部が受け持つことが報告され、承認された。また、3 月 13 日（水）午後に第 1 回実行委員会が開催されることが報告された。

9) その他

九州分析化学会賞・奨励賞（高椋支部長）

本賞の説明と推薦依頼がなされた。

役員名簿（梅木庶務幹事）

次年度の名簿が示され、確認依頼がなされた。

以上